

























つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2015. 4~6月期 第14回

【特別調査—中小企業の賃上げと人材確保への取組みについて】

津山信用金庫は、作州地域内251企業の経営者のご協力のもと、ここに第14回つしん景況レポートを発刊いたします。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況:4月~6月の業況は曇、7月~9月の見通しも曇■

【地域別天気図】	2014年 4月~6月	2014年 7月~9月	2014年 10月~12月	2015年 1月~3月	今期実績 4月~6月	来期見通し 7月~9月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2015年4月~6月)の業況判断DIは、前期比7.2ポイント上昇し、プラス8.8となった。来期(2015年7月~9月)はプラス4.8と業況感が若干悪化する見通しとなっている。

●地域別には、津山鏡野地域は前期比12.5ポイント上昇しプラス16.3、真庭地域は前期比3.6ポイント改善しマイナス10.4、美作勝央地域は前期比9.1ポイント下降しプラス2.3となった。来期は、真庭地域マイナス6.2と景況感が改善するが、津山鏡野地域プラス10.7、美作勝央地域マイナス4.6と業況感が悪化する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
作州地域全体	1.6	33.5	41.8	24.7	8.8	27.1	50.6	22.3	4.8
津山鏡野地域	3.8	37.7	40.9	21.4	16.3	30.2	50.3	19.5	10.7
真庭地域	▲14.0	25.0	39.6	35.4	▲10.4	14.6	64.6	20.8	▲6.2
美作勝央地域	11.4	27.3	47.7	25.0	2.3	29.5	36.4	34.1	▲4.6

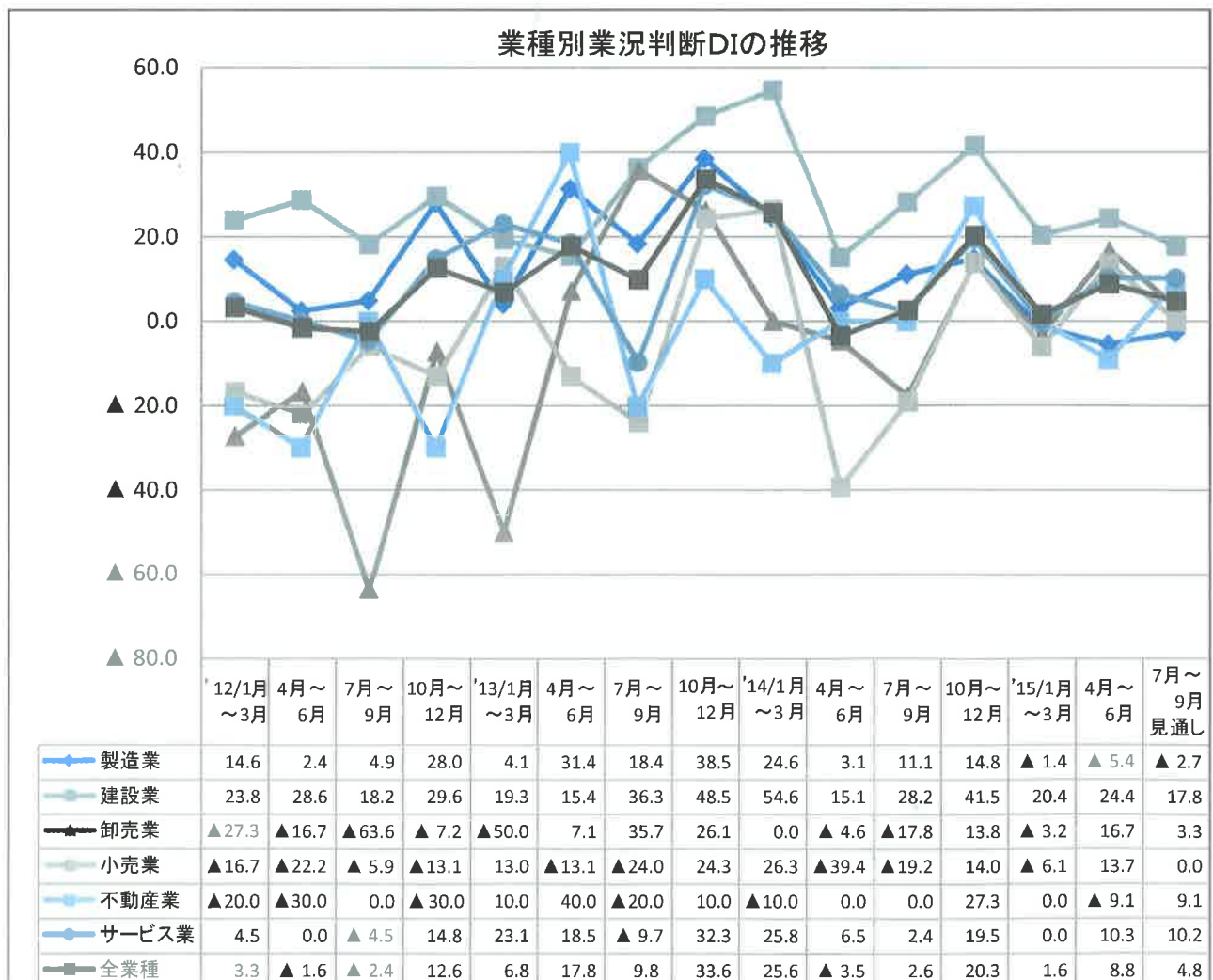
※DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上~ 30未満	0以上~ 10未満	▲10以上 ~ 0未満	▲30以上 ~ ▲10未満	▲30未満
天気図						

■ 全業種総合 ■

【業種別 天気図】	2014年 4月～6月	2014年 7月～9月	2014年 10月～12月	2015年 1月～3月	今期実績 4月～6月	来期見通し 7月～9月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						



全業種	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況		1.6	33.5	41.8	24.7	8.8	27.1	50.6	22.3	4.8
売上		▲ 1.2	32.3	32.3	35.5	▲ 3.2	32.3	47.0	20.7	11.6
収益		▲ 4.4	28.7	36.3	35.1	▲ 6.4	24.7	52.2	23.1	1.6

- 業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)はプラス8.8となり、前期比7.2ポイント上昇した。来期(2015年7月～9月)見通しはプラス4.8となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス3.2となり、前期比2.0ポイント下降した。来期見通しはプラス11.6となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス6.4となり、前期比2.0ポイント下降した。来期見通しはプラス1.6となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足
資金繰り		2.4	12.0	82.1	6.0	6.0	8.4	87.6	4.0	4.4
雇用(人手過不足)		▲ 31.2	6.4	59.0	34.7	▲ 28.3	3.2	64.5	32.3	▲ 29.1
設備投資		▲ 8.4	5.4	80.0	14.6	▲ 9.2	2.1	85.4	12.5	▲ 10.4

- 資金繰り判断DIは、今期(2015年4月～6月)はプラス6.0となり、前期比3.6ポイント上昇した。来期(2015年7月～9月)見通しはプラス4.4となっている。
- 人手過不足判断DIは、今期はマイナス28.3となり、前期比2.9ポイント改善した。来期見通しはマイナス29.1となっている。依然として、人手不足感は強い。
- 設備投資DIは、今期はマイナス9.2となり、前期比0.8ポイント下降した。来期見通しは引続きマイナス10.4となっている。「適正」と回答のあった企業は8割となっている。

■ 製造業 ■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況		▲ 1.4	29.3	36.0	34.7	▲ 5.4	28.0	41.3	30.7	▲ 2.7
売上		▲ 5.4	32.0	30.7	37.3	▲ 5.3	30.7	45.3	24.0	6.7
収益		▲ 13.5	25.3	34.7	40.0	▲ 14.7	24.0	50.7	25.3	▲ 1.3

- 製造業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比4.0ポイント下降し、マイナス5.4となった。来期(2015年7月～9月)見通しはマイナス2.7となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス5.3、来期見通しはプラス6.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス14.7、来期見通しはマイナス1.3となっている。
- 製造業の内、その他製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業を除いたもの)の業況判断DIは、今期はプラス5.5、来期見通しはマイナス5.6となっている。
- 材料価格の上昇が引き続き収益を圧迫している。価格転嫁したとする声の一部ではあったが、販売量の増加や生産の効率化、仕入先の変更で収益を確保するとの声が多かった。

製造業のうち: 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況		46.1	38.5	38.5	23.1	15.4	46.2	38.5	15.4	30.8
売上		30.8	38.5	30.8	30.8	7.7	38.5	38.5	23.1	15.4
収益		7.7	30.8	23.1	46.2	▲ 15.4	30.8	38.5	30.8	0.0

●金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は反動減で前期比30.7ポイント大幅に下落し、プラス15.4となった。来期(2015年7月～9月)はプラス30.8と回復する見通しとなっている。

●売上判断DIは、今期はプラス7.7、来期見通しはプラス15.4となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス15.4、来期見通しはゼロとなっている。

●決算前の駆け込み受注があった前期に比べて、今期は納品量が減少しているが、機械部品の受注が好調なので、来期は業況が改善するとの声が複数から聞かれた。

製造業のうち： 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	▲ 26.7	13.3	13.3	73.3	▲ 60.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
売上	▲ 20.0	26.7	20.0	53.3	▲ 26.6	40.0	33.3	26.7	13.3
収益	▲ 26.7	20.0	26.7	53.3	▲ 33.3	33.3	33.3	33.3	0.0

●木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比33.3ポイント大幅に下降しマイナス60.0となった。来期(2015年7月～9月)見通しはマイナス20.0となっている。

●売上判断DIは、今期はマイナス26.6、来期見通しはプラス13.3となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス33.3、来期見通しはゼロとなっている。

●製材業では、住宅着工件数の低迷により販売価格・販売量ともに低下し、厳しい経営環境に置かれているとの声が多数聞かれた。

製造業のうち： 農林業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	▲ 27.2	27.3	54.5	18.2	9.1	36.4	18.2	45.5	▲ 9.1
売上	▲ 27.3	36.4	36.4	27.3	9.1	27.3	54.5	18.2	9.1
収益	▲ 27.3	27.3	27.3	45.5	▲ 18.2	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1

●農林業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比36.3ポイント上昇しプラス9.1となった。来期(2015年7月～9月)見通しはマイナス9.1となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス9.1、来期見通しもプラス9.1となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス18.2、来期見通しはマイナス9.1となっている。

●農林業では、収穫期と春需を迎えたため業況感が改善している。

■建設業■

建設業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	20.4	42.2	40.0	17.8	24.4	31.1	55.6	13.3	17.8
売上	6.8	40.0	31.1	28.9	11.1	42.2	42.2	15.6	26.6
収益	▲ 4.5	31.1	35.6	33.3	▲ 2.2	26.7	53.3	20.0	6.7

●建設業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比4.0ポイント上昇しプラス24.4となった。来期(2015年7月～9月)見通しはプラス17.8となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス11.1、来期見通しはプラス26.6となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス2.2、来期見通しはプラス6.7となっている。

●住宅建設を除いた建設業の業況判断DIは、今期はプラス26.9、来期見通しはプラス11.5となっている。

●公共工事は減少しているが、病院や保育園などの民間の大工事が受注できているとの声が複数聞かれた。

建設業のうち: 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	31.6	42.1	36.8	21.1	21.0	36.8	52.6	10.5	26.3
売上	0.0	52.6	21.1	26.3	26.3	47.4	36.8	15.8	31.6
収益	▲ 10.5	42.1	26.3	31.6	10.5	26.3	63.2	10.5	15.8

- 住宅建設業者の業況判断D Iは、今期(2015年4月～6月)は前期比10.6ポイント下降しプラス21.0となった。来期(2015年7月～9月)の見通しはプラス26.3となっている。
- 売上判断D Iは、今期はプラス26.3、来期見通しはプラス31.6となっている。
- 収益判断D Iは、今期はプラス10.5、来期見通しはプラス15.8となっている。
- 消費増税以降低調であった新築の受注が増えているとの声が聞かれた。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 3.2	36.7	43.3	20.0	16.7	30.0	43.3	26.7	3.3
売上	3.2	30.0	30.0	40.0	▲ 10.0	30.0	46.7	23.3	6.7
収益	6.5	30.0	33.3	36.7	▲ 6.7	26.7	50.0	23.3	3.4

- 卸売業の業況判断D Iは、今期(2015年4月～6月)は前期比19.9ポイント上昇しプラス16.7となった。来期(2015年7月～9月)見通しはプラス3.3となっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス10.0、来期見通しはプラス6.7となっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス6.7、来期見通しはプラス3.4となっている。
- 4月から暑い日が続いたため、飲料の売上が好調であったとの声が複数聞かれた。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 6.1	35.3	43.1	21.6	13.7	17.6	64.7	17.6	0.0
売上	10.2	29.4	29.4	41.2	▲ 11.8	33.3	41.2	25.5	7.8
収益	8.2	35.3	29.4	35.3	0.0	27.5	45.1	27.5	0.0

- 小売業の業況判断D Iは、今期(2015年4月～6月)は前期比19.8ポイント上昇しプラス13.7となった。来期(2015年7月～9月)見通しはゼロとなっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス11.8、来期見通しはプラス7.8となっている。
- 収益判断D Iは、今期はゼロ、来期見通しもゼロとなっている。
- 飲食業からは、全ての材料価格が上昇しており、価格高騰で入手困難となった材料については、代用品での対応を余儀なくされているとの声が聞かれた。

小売業のうち: 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	14.3	14.3	42.9	42.9	▲ 28.6	0.0	71.4	28.6	▲ 28.6
売上	50.0	14.3	28.6	57.1	▲ 42.8	21.4	57.1	21.4	0.0
収益	28.6	21.4	28.6	50.0	▲ 28.6	21.4	57.1	21.4	0.0

●自動車小売業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比42.9ポイント下落しマイナス28.6となった。来期(2015年7月～9月)見通しもマイナス28.6となっている。

●売上判断DIは、今期はマイナス42.8、来期見通しはゼロとなっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス28.6、来期見通しはゼロとなっている。

●需要期であった前期の反動と軽自動車税増税により販売が低調となっているとの声が多く聞かれた。また、中古車市場でハイブリッド車のニーズが増加傾向にあるとの声が聞かれた。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	0.0	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1	45.5	18.2	36.4	9.1
売上	9.1	18.2	45.5	36.4	▲ 18.2	27.3	54.5	18.2	9.1
収益	9.1	18.2	45.5	36.4	▲ 18.2	27.3	54.5	18.2	9.1

●不動産業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比9.1ポイント下降しマイナス9.1となった。来期(2015年7月～9月)見通しはプラス9.1となっている。

●売上判断DIは、今期はマイナス18.2、来期見通しはプラス9.1となっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス18.2、来期見通しはプラス9.1となっている。

●地域外から投資目的で不動産を物色する動きが見られた。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	0.0	30.8	48.7	20.5	10.3	25.6	59.0	15.4	10.2
売上	▲ 21.9	33.3	38.5	28.2	5.1	25.6	61.5	12.8	12.8
収益	▲ 14.6	25.6	48.7	25.6	0.0	17.9	64.1	17.9	0.0

●サービス業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比10.3ポイント上昇しプラス10.3となった。来期(2015年7月～9月)見通しはプラス10.2となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス5.1、来期見通しはプラス12.8となっている。

●収益判断DIは、今期はゼロ、来期見通しもゼロとなっている。

●運送業では、燃料価格が上昇傾向にあり、収益を圧迫しているとの声が複数聞かれた。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	26.6	25.0	50.0	25.0	0.0	8.3	66.7	25.0	▲ 16.7
売上	▲ 13.4	25.0	50.0	25.0	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0
収益	0.0	8.3	58.3	33.3	▲ 25.0	8.3	58.3	33.3	▲ 25.0

●医療福祉業の業況判断DIは、今期(2015年4月～6月)は前期比26.6ポイント下降しゼロとなった。来期(2015年7月～9月)見通しはマイナス16.7となっている。

●売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しもゼロとなっている。

●収益判断DIは、今期はマイナス25.0、来期見通しもマイナス25.0となっている。

●4月からの介護報酬マイナス改定により、業況が悪化している。介護福祉業では、作州地域内で介護施設の新設が続いたことから、待機者の減少が予想されるので、自施設の実待機者を把握するための実態調査を始めたとの声が聞かれた。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	32.0	25.3	42.7	▲ 10.7
建設業	33.3	40.0	26.7	6.6
卸売業	33.3	33.3	33.3	0.0
小売業	33.3	43.1	23.5	9.8
不動産業	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1
サービス業	43.6	33.3	23.1	20.5
総計	33.9	35.1	31.1	2.8

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	21.3	34.7	44.0	▲ 22.7
建設業	31.1	48.9	20.0	11.1
卸売業	26.7	53.3	20.0	6.7
小売業	41.2	43.1	15.7	25.5
不動産業	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1
サービス業	41.0	33.3	25.6	15.4
総計	30.7	41.8	27.5	3.2

業種別	増加	変わらず	減少	DI
卸売業	30.0	63.3	6.7	23.3
小売業	25.5	66.7	7.8	17.7
総計	27.2	65.4	7.4	19.8

- ① 昨年同期(2014年4月～6月)比較売上高DIは、全業種ではプラス2.8となった。
 ② 昨年同期比較収益DIは、製造業と不動産業ではマイナスとなったが、全業種ではプラス3.2となった。
 ③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業プラス23.3、小売業プラス17.7となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	▲ 8.1	4.0	78.7	17.3	▲ 13.3	4.0	89.3	6.7	▲ 2.7
建設業	2.3	11.1	75.6	13.3	▲ 2.2	6.7	84.4	8.9	▲ 2.2
卸売業	16.2	20.0	76.7	3.3	16.7	13.3	83.3	3.3	10.0
小売業	8.2	25.5	68.6	5.9	19.6	23.5	76.5	0.0	23.5
不動産業	▲ 9.1	0.0	72.7	27.3	▲ 27.3	0.0	81.8	18.2	▲ 18.2
サービス業	7.4	7.7	76.9	15.4	▲ 7.7	2.6	97.4	0.0	2.6
総計	2.4	12.0	75.3	12.7	▲ 0.7	9.2	86.1	4.8	4.4

● 販売価格DIは、今期は、卸売業と小売業がプラスとなったが、全業種ではマイナス0.7となった。来期見通しは、全業種ではプラス4.4となっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	13.5	22.7	64.0	13.3	9.4	16.0	81.3	2.7	13.3
建設業	40.9	37.8	60.0	2.2	35.6	22.2	75.6	2.2	20.0
卸売業	29.1	50.0	50.0	0.0	50.0	36.7	60.0	3.3	33.4
小売業	14.3	37.3	49.0	13.7	23.6	25.5	72.5	2.0	23.5
不動産業	▲ 9.1	0.0	81.8	18.2	▲ 18.2	0.0	90.9	9.1	▲ 9.1
サービス業	12.2	17.9	76.9	5.1	12.8	12.8	87.2	0.0	12.8
総計	19.2	29.9	61.4	8.8	21.1	20.3	77.3	2.4	17.9

● 仕入価格DIは、不動産業を除く業種でプラスとなり、全業種でプラス21.1となった。来期見通しは全業種でプラス17.9となっている。

● 原油価格の上昇を懸念する声が聞かれた。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正
製造業	▲ 1.4	9.3	85.3	5.3	4.0	6.7	89.3	4.0	2.7
建設業	2.2	2.2	97.8	0.0	2.2	2.2	97.8	0.0	2.2
卸売業	9.7	3.3	90.0	6.7	▲ 3.4	3.3	93.3	3.3	0.0
小売業	18.4	17.6	76.5	5.9	11.7	13.7	78.4	7.8	5.9
不動産業	9.1	9.1	81.8	9.1	0.0	9.1	81.8	9.1	0.0
総計	6.2	9.0	86.3	4.7	4.3	7.1	88.7	4.2	2.9

●在庫DIは、今期は、全業種で8割超が適正と回答し、全業種でプラス4.3となった。来期見通しも、全業種で8割超が適正と回答し、全業種でプラス2.9となっている。

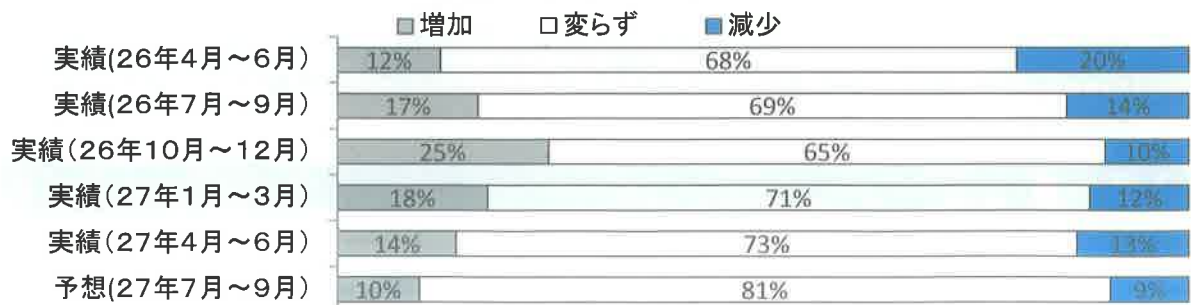
■受注残■

受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず
製造業	▲ 8.1	25.3	40.0	34.7	▲ 9.4	20.0	58.7	21.3	▲ 1.3
建設業	▲ 11.4	35.6	35.6	28.9	6.7	31.1	51.1	17.8	13.3
総計	▲ 9.3	29.2	38.3	32.5	▲ 3.3	24.2	55.8	20.0	4.2

●製造業の受注残DIは、今期は前期比1.3ポイント下落しマイナス9.4となり、来期見通しはマイナス1.3となっている。
●建設業の受注残DIは、今期は前期比18.1ポイント上昇しプラス6.7となり、来期見通しはプラス13.3となっている。

■雇用面の動き■

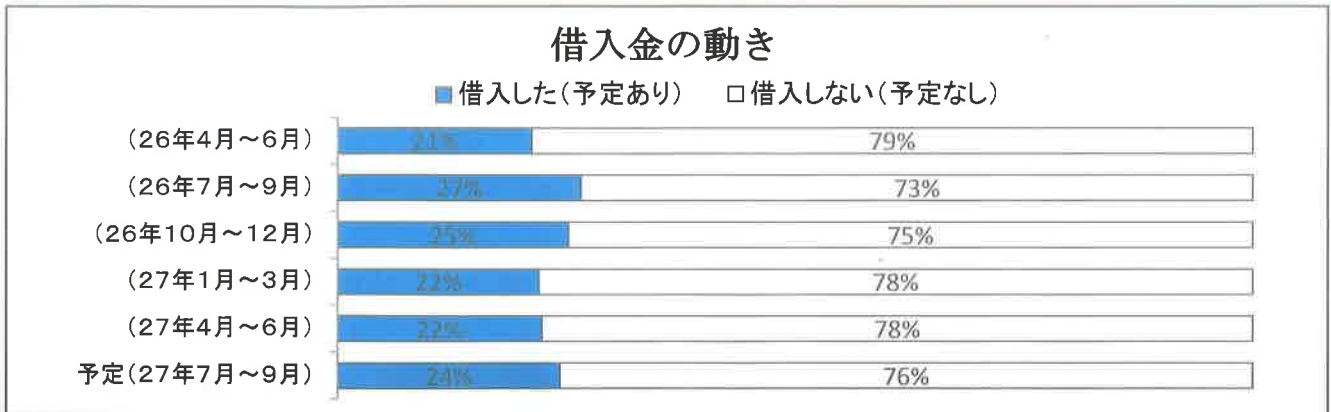
前期比残業時間



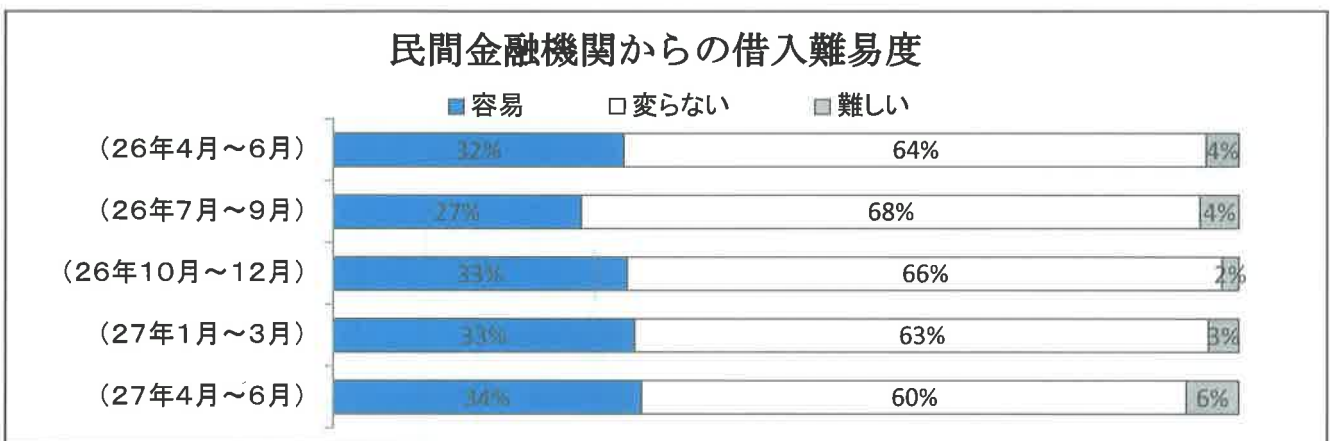
人手実績と予想



借入金の動き・難易度



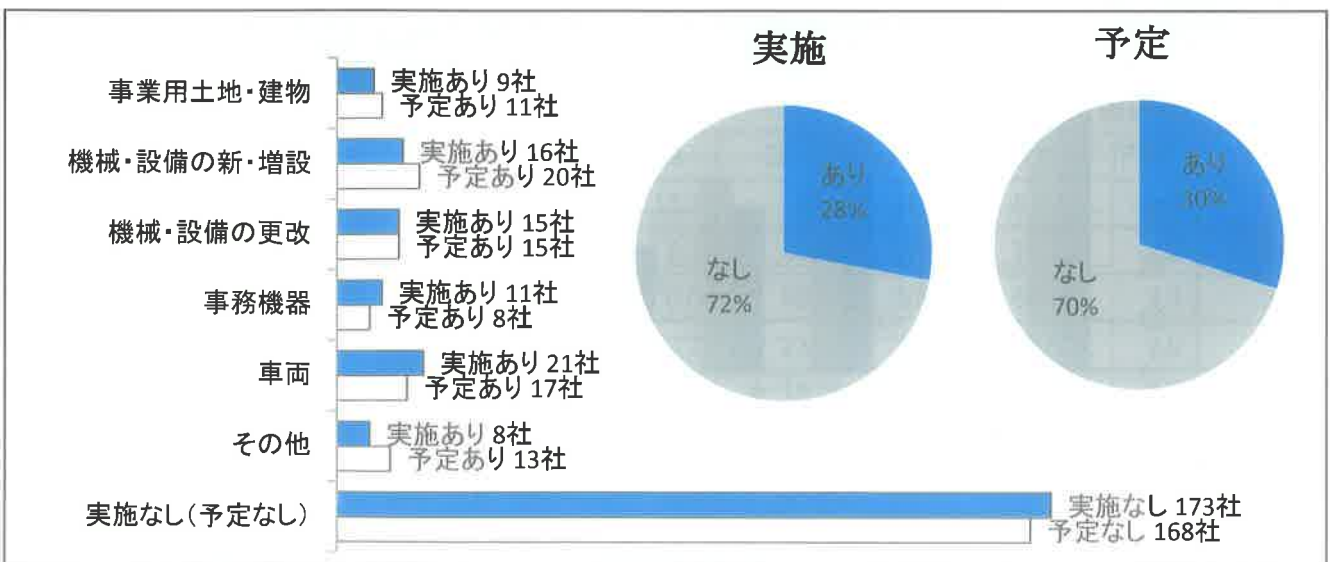
●借入を実施(27年4月～6月)した企業の割合は、去年同期比1ポイント上昇した。借入を予定(27年7月～9月)している企業の割合は、去年同期実績に比べ3ポイント減少となっている。



●借入の難易度(27年4月～6月)は、『容易』と回答した企業の割合が去年同期比2ポイント増加し、『難しい』と回答した企業の割合も、去年同期比2ポイント増加となっている。

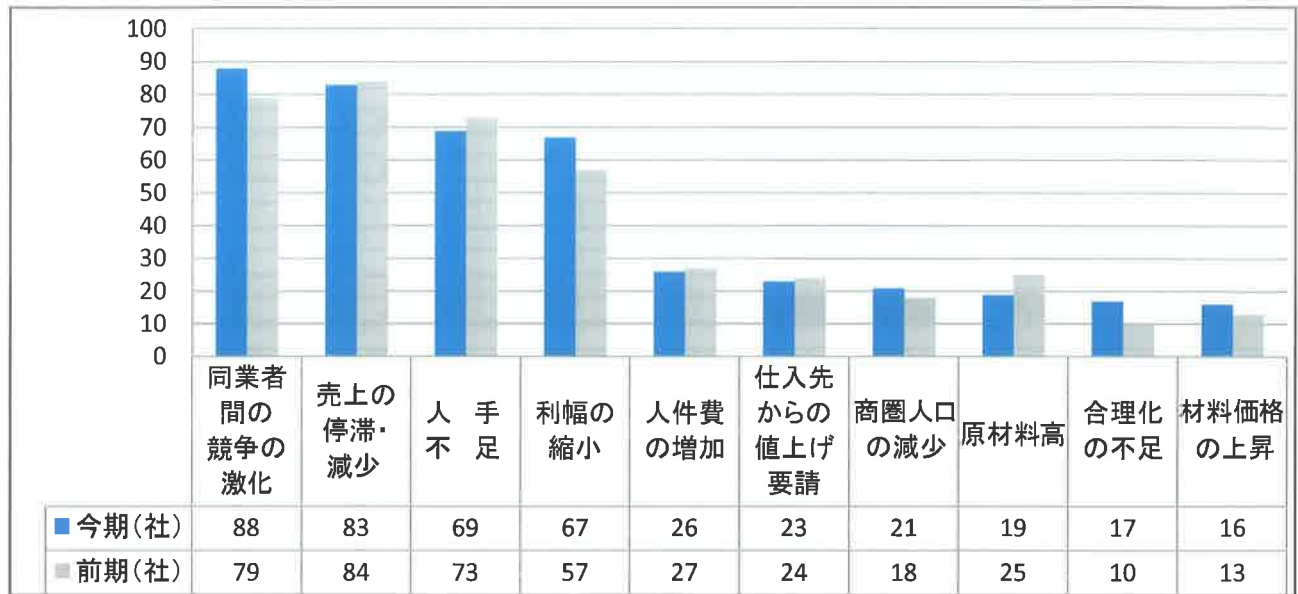
設備投資の実施(27年4月～6月)と予定(27年7月～9月)

●全業種(除く不動産業:有効回答計240社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

● 全業種(複数回答)

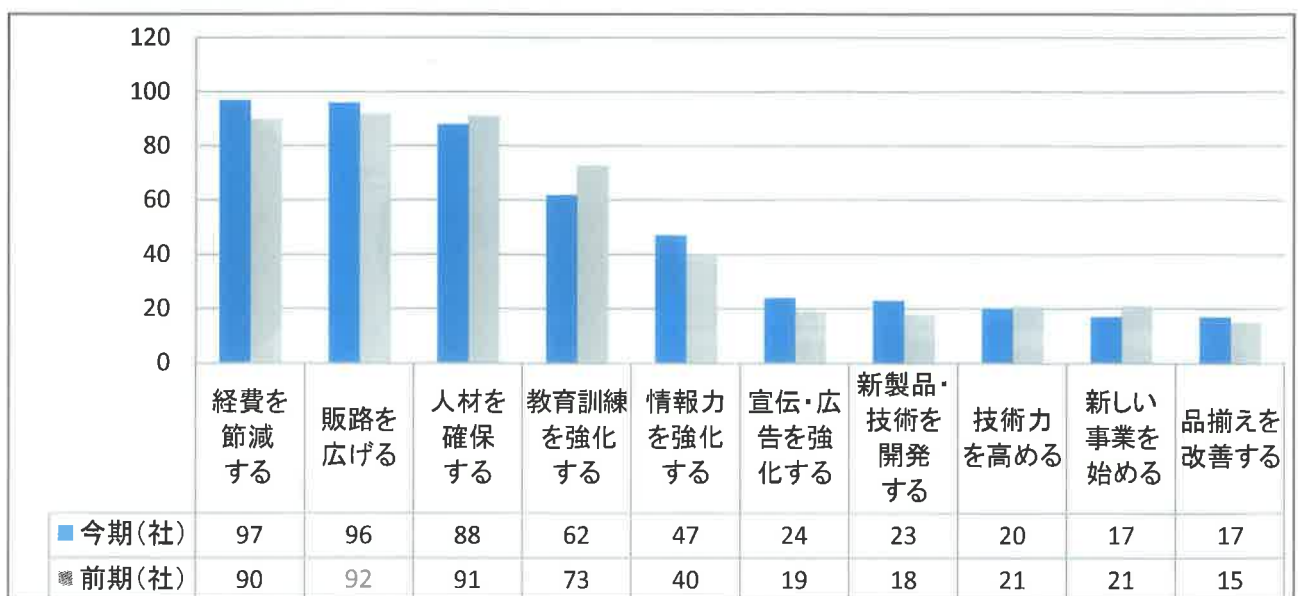


● 業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	売上の停滞・減少	16.0	同業者間の競争の激化	15.5	同業者間の競争の激化	19.5	売上の停滞・減少	14.4	売上の停滞・減少	23.1	人手不足	21.7
2位	同業者間の競争の激化	11.0	人手不足	13.6	利幅の縮小	15.6	同業者間の競争の激化	14.4	利幅の縮小	23.1	同業者間の競争の激化	17.4
3位	人手不足	10.5	売上の停滞・減少	12.6	仕入先からの値上げ要請	11.7	商業圏人口の減少	12.0	商品物件の不足	15.4	利幅の縮小	8.7
4位	原材料高	10.5	材料価格の上昇	10.7	売上の停滞・減少	11.7	利幅の縮小	12.0	同業者間の競争の激化	11.5	売上の停滞・減少	8.7
5位	利幅の縮小	9.9	利幅の縮小	7.8	人手不足	6.5	人手不足	8.8	大手企業との競争の激化	7.7	人件費の増加	7.6

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種(複数回答)



●業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	20.0	販路を広げる	18.6	販路を広げる	23.4	経費を節減する	16.7	情報力を強化する	29.6	人材を確保する	25.3
2位	経費を節減する	15.0	技術力を高める	17.7	人材を確保する	14.3	教育訓練を強化する	15.0	経費を節減する	18.5	販路を広げる	18.2
3位	人材を確保する	13.3	経費を節減する	16.8	経費を節減する	14.3	品揃えを改善する	14.2	宣伝・広告を強化する	18.5	経費を節減する	15.2
4位	新製品・技術を開発する	12.8	人材を確保する	15.0	品揃えを充実する	10.4	店舗・設備を改装する	10.8	販路を広げる	11.1	教育訓練を強化する	13.1
5位	情報力を強化する	8.9	情報力を強化する	14.2	情報力を強化する	9.1	人材を確保する	9.2	不動産の有効活用を図る	7.4	技術力を強化する	9.1

■調査員の調査コメントから■

○人材不足が継続しており、医療介護、ITなどのサービス業、建設業、製造業、卸売業、小売業と広範囲に及んでいる。新卒者が条件のいい都市部へ就職する、期待する人材が来ない、採用しても定着しない（すぐに辞める）などの声があった。

○ものづくり補助金により製造ラインの機械化を進めたが、機械を操作するオペレーターがいない。また、工事を受注しても現場監督者・作業員が少ないため、計画通りに作業が進まず工期の延長を余儀なくされているなどの声が複数あった。

○6月1日発売された「岡山県のふるさと旅行券」を利用した観光客の増加を期待する声や、「プレミアム付商品券」利用による売上増加を期待する声が聞かれた。

○ホームページやブログで、会社内の行事やチームワークの良さ、組織力を掲載し、企業のイメージを確立することで他社と競合しない販売方法をとっているとの声が複数あった。

○2017年消費税の増税を意識して、土地を探す人や住宅展示場や完成見学会へ参加する人が増加傾向にあるとの声が複数あった。

○大手飲食チェーン店の進出、倉庫物件への問合せが増加しているとの声が聞かれた。

以上

■調査要領■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2015年5月22日～6月5日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

DIを中心に分析

5. 季節変動について

業況判断DIは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動（季節変動）がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整（季節調整）は行っておりません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。
また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

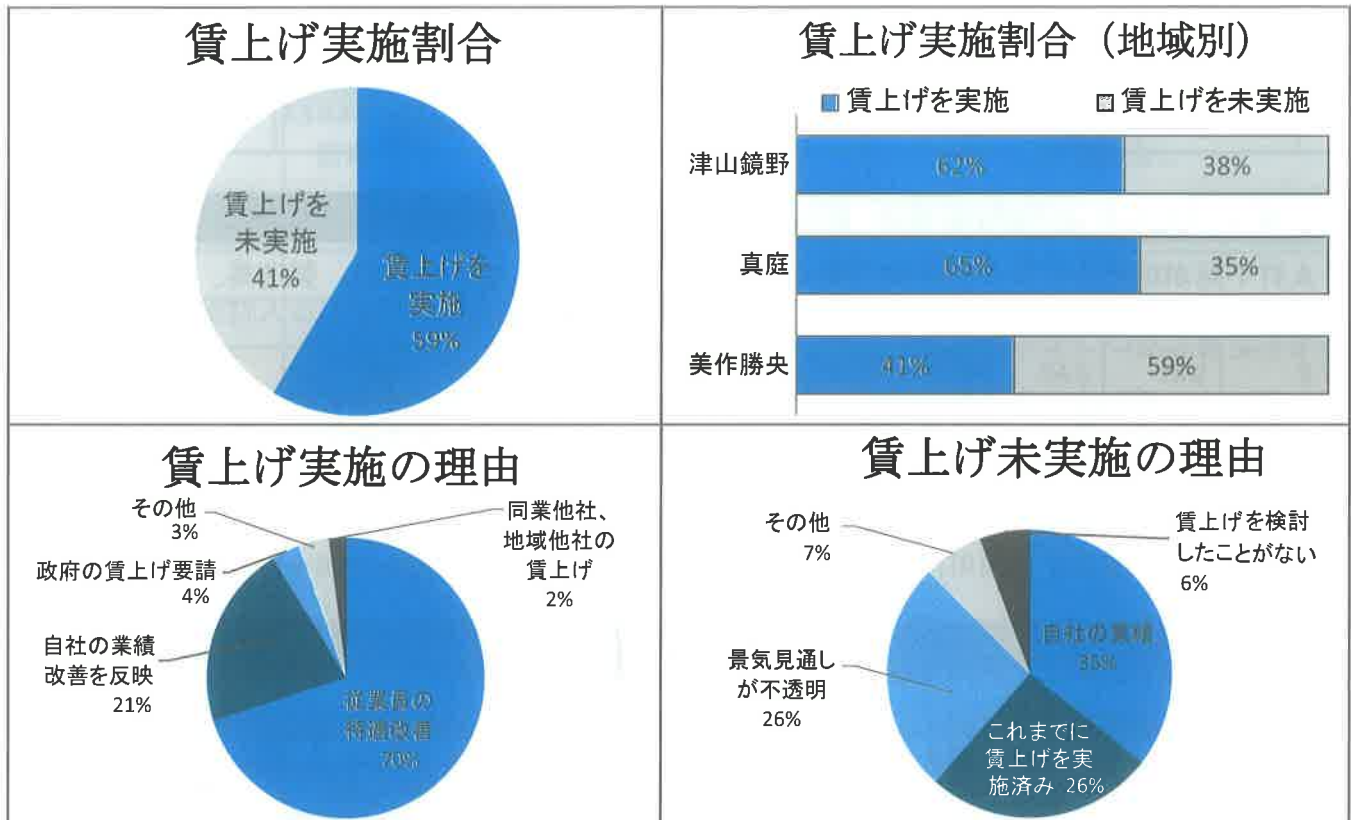
■調査対象■

地区別	企業数	比率	従業員規模別	企業数	比率
津山鏡野地域	159	63.3%	1～4人	44	17.5%
真庭地域	48	19.1%	5～9人	58	23.1%
美作勝央地域	44	17.5%	10～19人	61	24.3%
総計	251	100.0%	20～29人	33	13.1%
			30～39人	13	5.2%
			40～49人	13	5.2%
			50～99人	12	4.8%
			100～199人	12	4.8%
			200～300人	4	1.6%
			301人以上	1	0.4%
			総計	251	100.0%

☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆

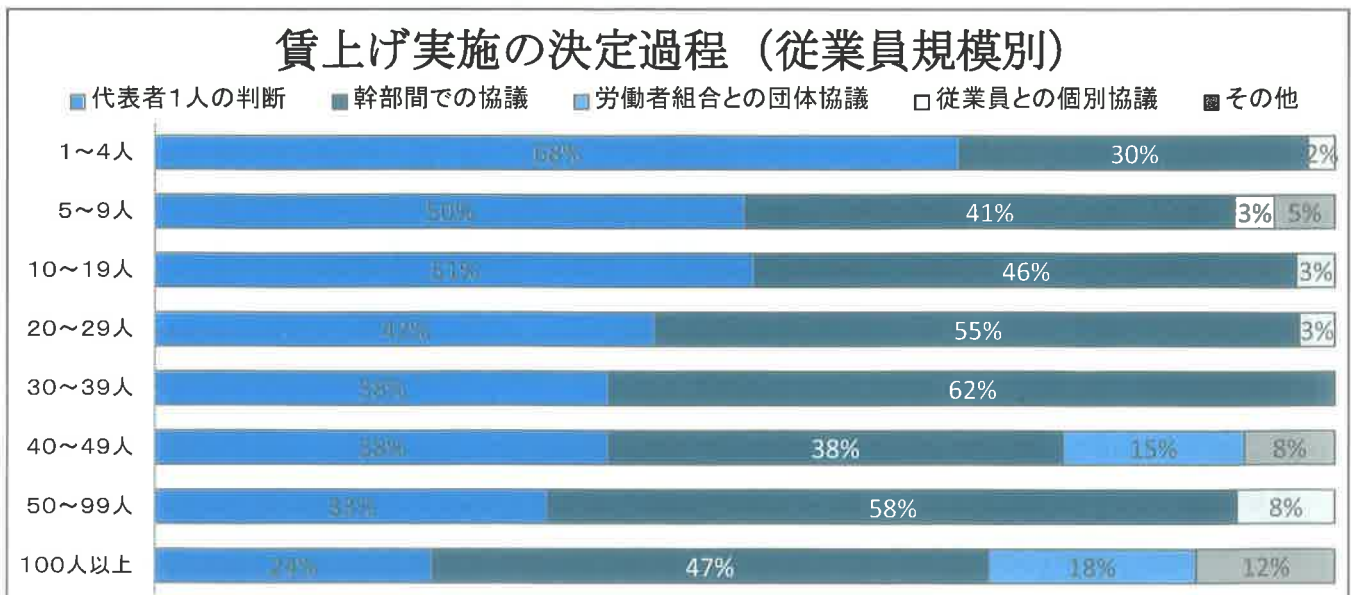
特別調査-「中小企業の賃上げと人材確保への取組みについて」

問1. 貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合は、その理由について、また、賃上げを実施しなかった場合、その理由について最もあてはまるものをお答え下さい。

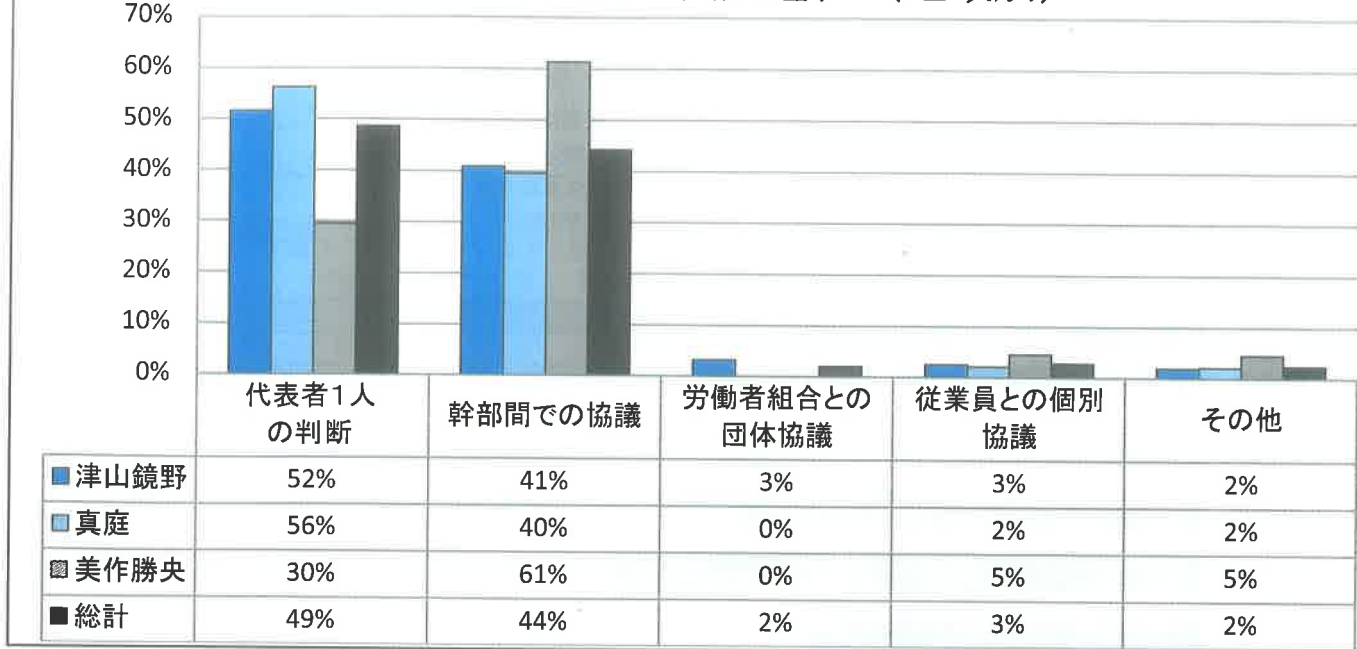


- 全体の59%の企業が賃上げを実施し、地域別には、津山鏡野地区（62%）、真庭地区（65%）、美作勝央地区（41%）となった。
- 賃上げ実施の理由は、「従業員の待遇改善」（70%）が最も多く、次いで「自社の業績改善を反映」（21%）が続いた。賃上げ未実施の理由は、「自社の業績」（35%）が最も多く、「これまでに賃上げを実施済み」（26%）、「景気見通しが不透明」（26%）が同数で続いた。

問2. 貴社では、賃上げを実施する場合、どのような過程で決定しますか。

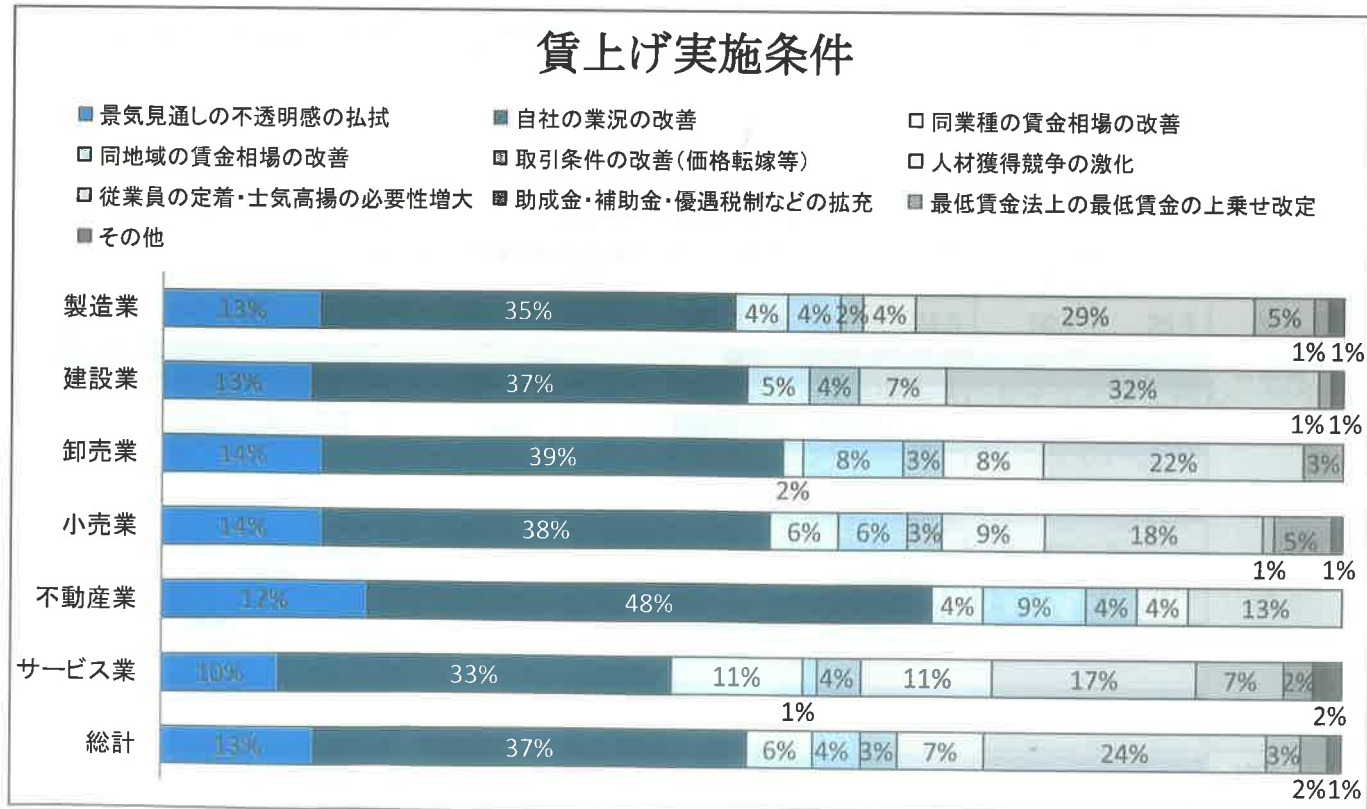


賃上げ実施の決定過程（地域別）



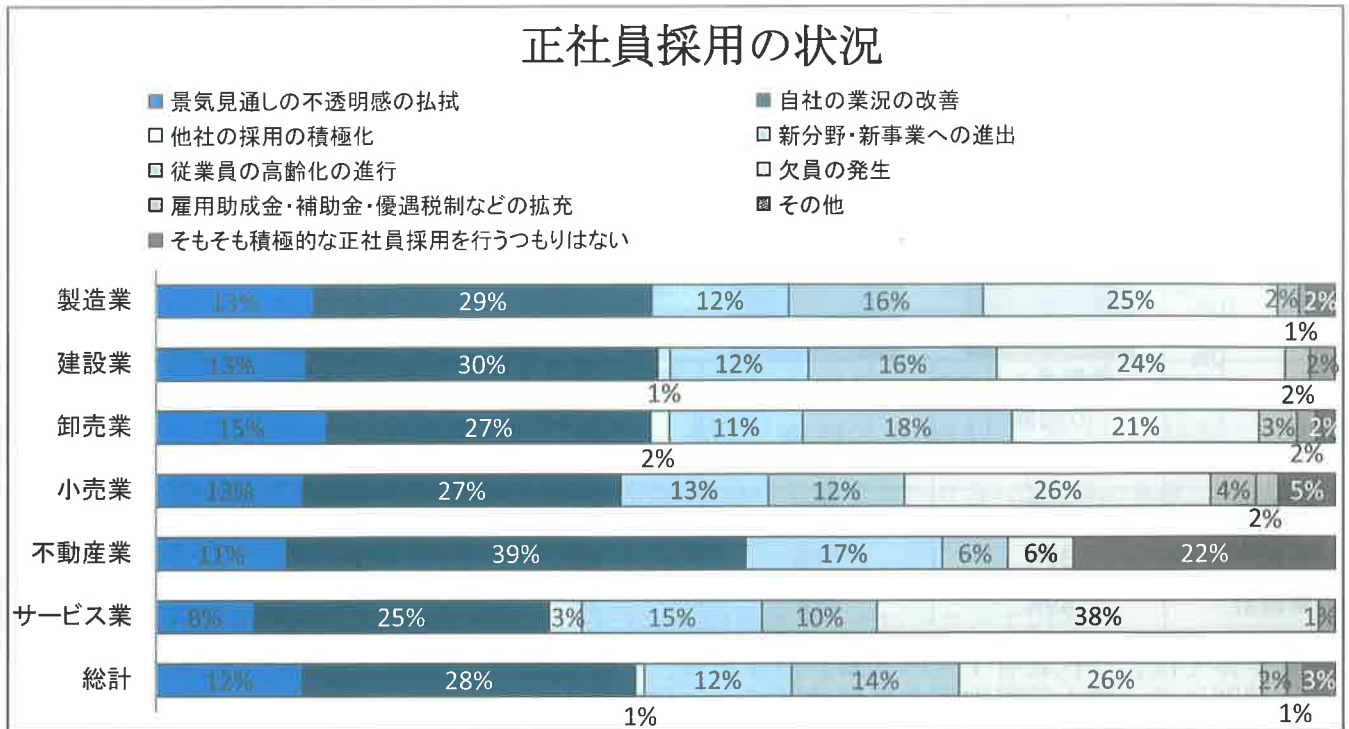
- 全体では、「代表者1人の判断」が49%、「幹部間での協議」が44%となっており、地域別には、津山鏡野地区と真庭地区で、「代表者1人の判断」が最も高く、美作勝央地区で、「幹部間での協議」が最も高くなっている。
- 従業員規模が小さな企業ほど「代表者1人の判断」が高い結果となった。

問3. 貴社では、通常、どのような条件が生じれば、賃上げを実施しようと思いますか。
(複数回答)



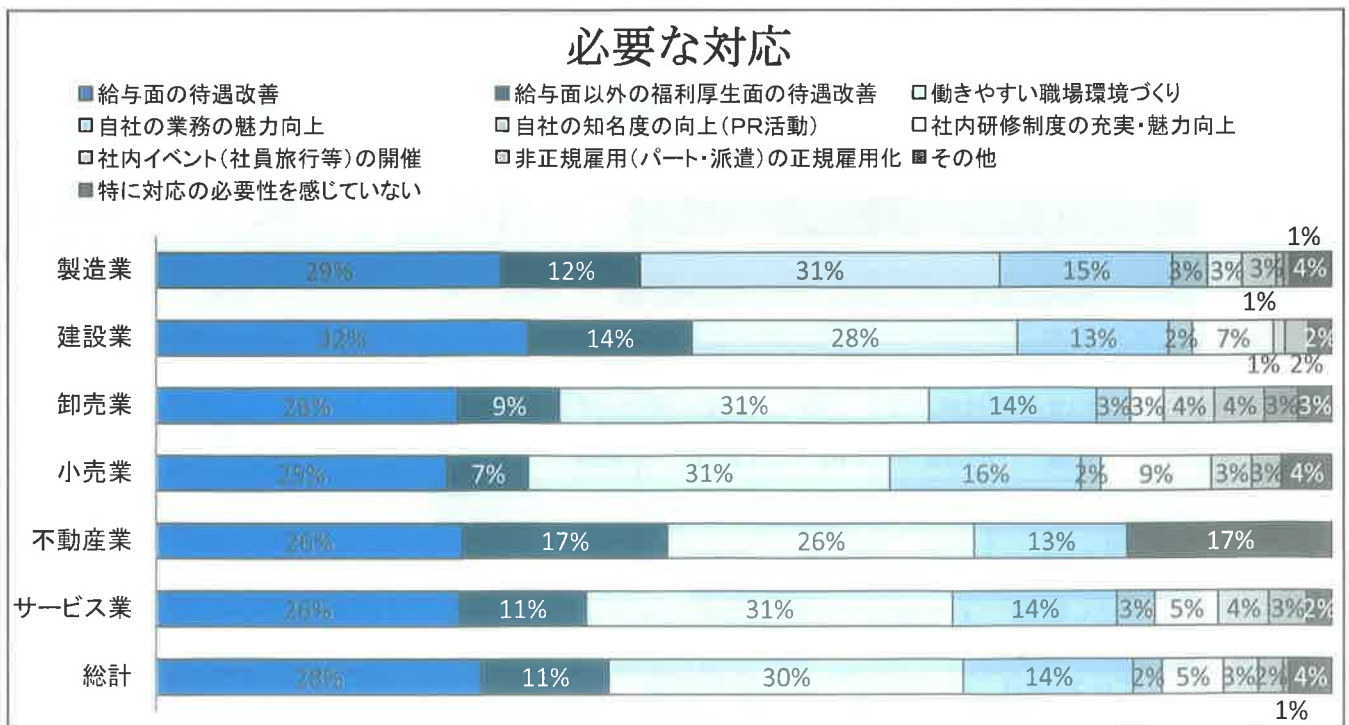
- 賃上げ実施条件として、全業種で「自社の業況の改善」（37%）が最も高く、次いで、不動産業を除く業種で「従業員の定着・士気高揚の必要性増大」が続いた。不動産業では、「景気見通しの不透明感の払拭」が続いた。

問4. 貴社では、どのような状況になれば、より積極的な正社員採用をしようと思いますか。
(複数回答)



- 正社員を採用する状況として、サービス業を除く業種で「自社の業況の改善」（28%）が最も高く、サービス業では「欠員の発生」（38%）が最も高くなっている。
- サービス業では人手不足の状態が続いているため、欠員は業務遂向上大きな問題となるとの声が聞かれた。

問5. 大手企業を中心に賃上げの動きが広がるなか、貴社では、人材の定着を図るため、どのような対応が必要だとお考えですか。（複数回答）



- 人材の定着を図るためには、「給与面の待遇改善」（28%）と「働きやすい職場環境づくり」（30%）が必要な対応と考えている企業が多かった。
- 社員との親睦を図るため、初めての社員旅行を計画している企業があった。

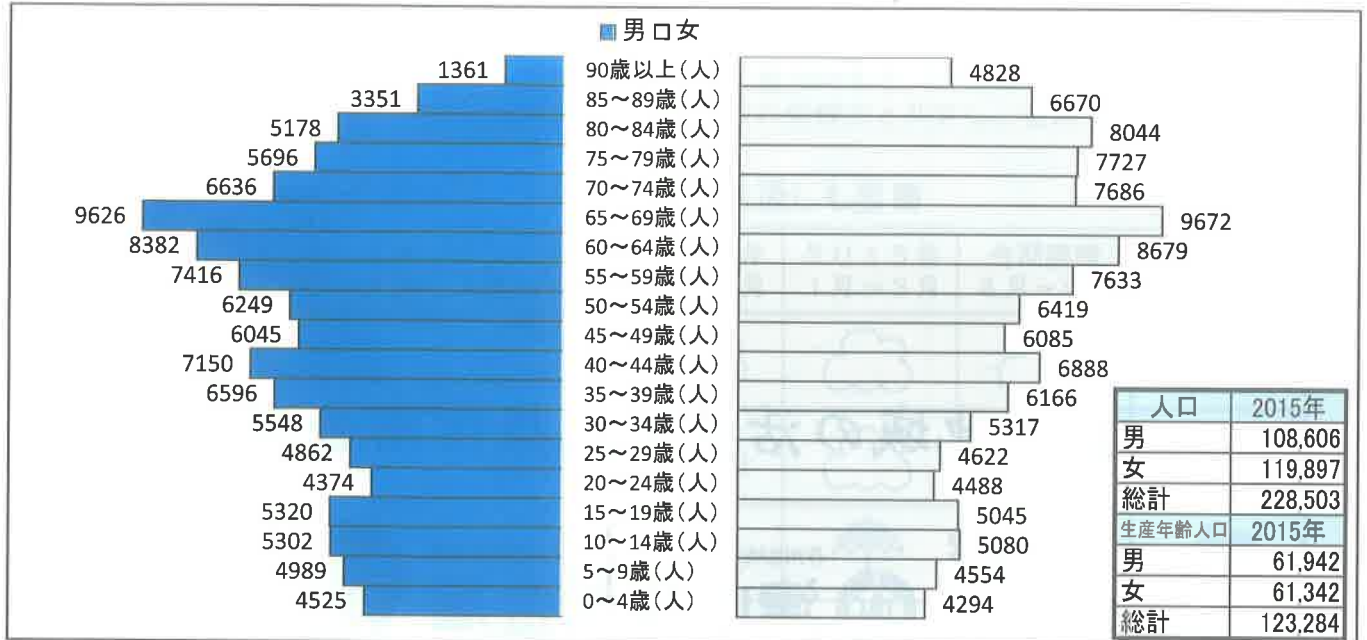
(参考) 地域経済分析システム (RESAS) とは

内閣官房 (まち・ひと・しごと創生本部事務局) 及び経済産業省が、「地域経済分析システム (RESAS (リーサス))」の提供を開始しています。

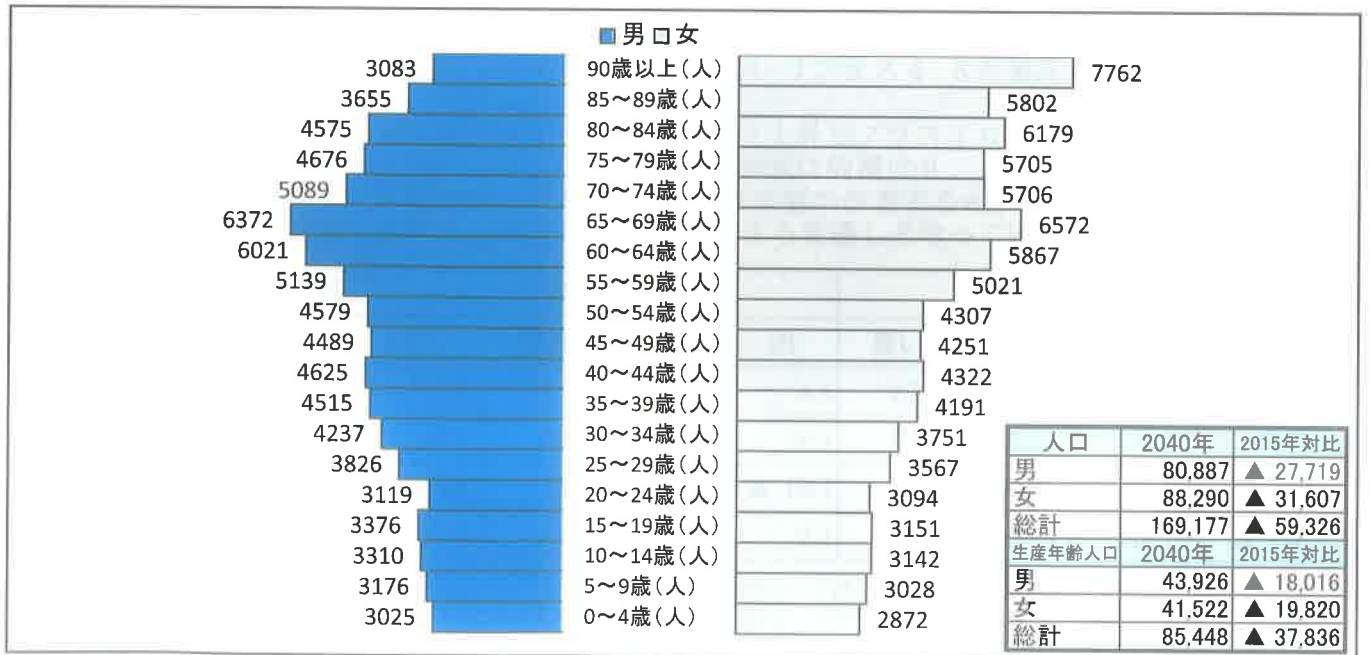
「RESAS」は、「産業マップ」「人口マップ」「観光マップ」「自治体比較マップ」から構成されており、「産業マップ」を除いて、一般の方でもWEB上で見ることができます。

※下表の人口ピラミッドは、「RESAS」を用いて作成しました。(担当: 藤本、岡部)

【2015年作州地域人口ピラミッド】



【2040年作州地域人口ピラミッド】



● 2015年の人口228,503人が、2040年には、169,177人まで減少し、2015年人口の約74%まで減少すると予想される。

● 2015年の生産年齢人口123,284人が、2040年には、85,448人まで減少し、2015年の約69%まで減少すると予想される。

※作州地域: 津山市、真庭市、美作市、勝央町、鏡野町、奈義町、美咲町、久米南町、西粟倉村、新庄村

※生産年齢人口: 15歳以上65歳未満の年齢に該当する人口

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫

津山信用金庫



岡山県津山市山下30-15
0868-22-4121
営業支援部
(担当：杉山、岡部)